

スポーツで拓く、かほくの未来



スポーツコミッショングループ

一般社団法人スポーツコミッションかほく

目次

- 1. スポーツコミッショントとは？**
- 2. スポーツコミッショントかほく 設立までの沿革**
- 3. スポーツコミッショントかほく 概要**
- 4. 取組実績**
- 5. 事業推進における基本方針**
- 6. 令和8年度事業計画及び予算計画**

1. スポーツコミッショントとは？

スポーツコミッショントとは

地域スポーツコミッショントは、地方公共団体、スポーツ団体、観光団体、商工団体、大学、企業等が一体となり、スポーツツーリズムを中心にスポーツによる地域振興に取り組む組織です。

(参照：スポーツ庁 地域スポーツコミッショントポータル)

全国に207団体 (2024年時点)

石川県に3団体 (2025年11月時点)

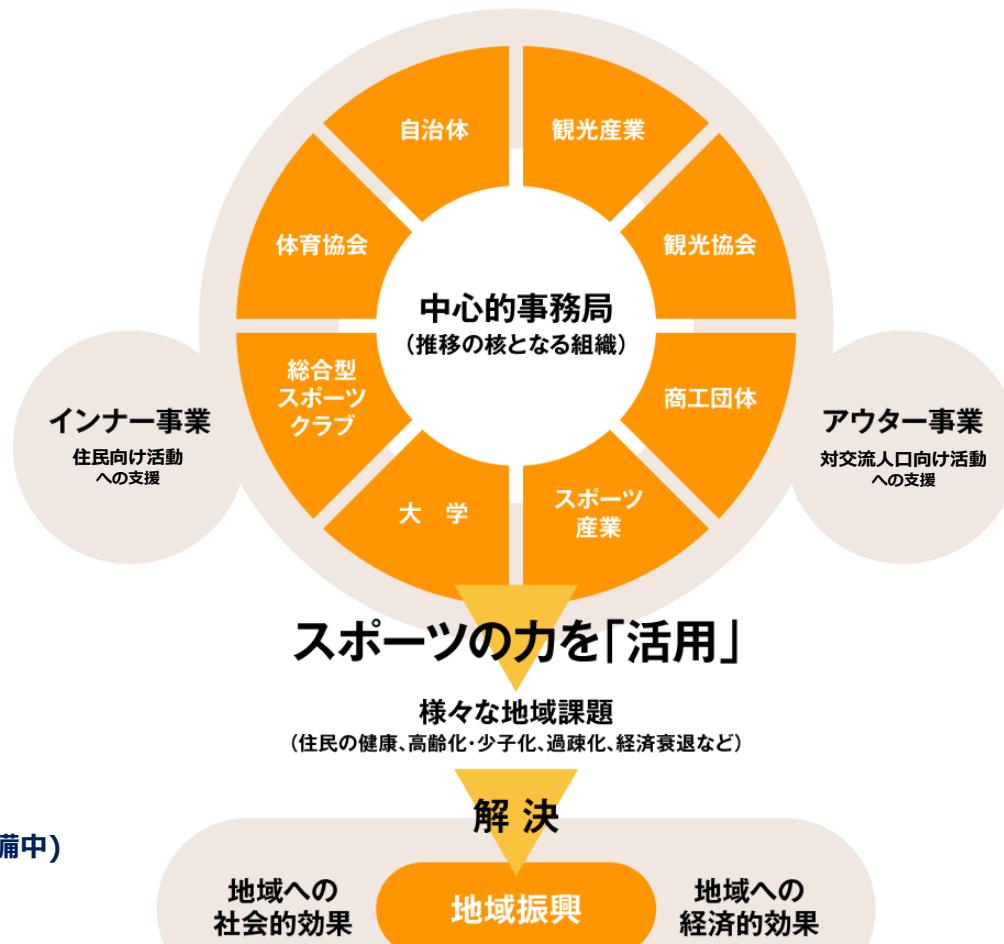
- ・特定非営利活動法人
宝達スポーツ文化コミッショント
- ・一般社団法人
スポーツコミッショントかほく
- ・金沢文化スポーツコミッショント



その他北陸三県

- ・富山県スポーツコミッショント
- ・うおづスポーツコミッショント
- ・福井県スポーツまちづくり推進機構

「地域スポーツコミッショント」(総称)



(出典：スポーツ庁 地域スポーツコミッショントポータル)

2. スポーツコミッショナかほく 設立までの沿革

令和3年度

- コミッショナの構想及び基本計画の策定 【府内WGによる検討、有識者からの意見聴取、先進地視察】
 - 7月：アドバイザー配置 、 9月：スポーツを通じた地域活性化事業「教育部ワーキング」開催
 - 11月：志摩スポーツコミッショナ、三重県営サンアリーナ視察 、 12月：SPORTEC（スポルテック）@東京ビッグサイト視察

令和4年度

- 人材の確保、基本計画に基づく行動計画の取りまとめ 【キーパーソンとの連携、身の丈に合った事業の実施】
 - 7月：地域おこし協力隊員の採用 、 スポーツコミッショナ準備室の開設（かほく市教育委員会 スポーツ文化課内）
 - 7月、8月：かほく市のスポーツによる地域活性化に向けたコア会議 、 1月：金沢文化スポーツコミッショナから講師招聘しWG会議

令和5年度

- 組織立ち上げ、キックオフ事業の展開
 - 通年：役員の選定、R6年度キックオフに向けて事業・予算の検討、法人化についての検討・準備、人事についての検討、採用準備
 - 3月：5日 設立準備理事会・職員採用面接 、 26日 設立時総会

令和6年度

- 組織本格始動
 - 4月：1日 事務所開設（かほく市七塚生涯学習センター2階 第2会議室）、5日 登記完了（一社）スポーツコミッショナかほく
 - 5月：8日 スポーツコミッショナかほく発会式 、 ロゴマーク決定
 - 18日 第1弾イベント「あそびつくせ」実施 in うみっこらんど七塚（700名参加）

3. 一般社団法人スポーツコミッショングかほく 法人概要

設立日 令和6年4月1日

事務所 かほく市遠塚口57番地6（七塚生涯学習センター2階）

1. 正会員

かほく市

かほく市商工会

かほく市スポーツ協会

かほく市スポーツ少年団

かほく市観光物産協会

NPO法人クラブパレット

2. 役員

理事長 二口 卓（株式会社二口製紐）

副理事長 西村 貴之（金沢星稜大学）

専務理事 四柳 智恵（スポーツコミッショングかほく事務局長）

理事 廣瀬 勝巳（広瀬産業株式会社）

新蔵 加寿代（スポーツ推進委員）

監事 細井 將守（認定こども園 うのけ幼稚園）

3. 事務局

事務局長 四柳 智恵（専務理事 兼任）

事務局員 ディレクター 浅木 政宏

コーディネーター 佐藤 玲菜

スポーツコミッショナかほく ミッション ビジョン バリュー

～ スポーツで拓(ひら)く、かほくの未来 ～

【ミッション】（使命）地域社会の活性化と健全な発展に寄与し、市民の生活を豊かにすることを使命とする。

【ビジョン】（経営理念） 当法人は、スポーツによる地域活性化を促進することを使命とし、以下の価値を追求します。

1. 地域資源の最大活用：かほく市の自然、施設、地域資源の魅力を引き出し、最大限に活用します。
2. 交流人口と関係人口の拡大：スポーツを通じて地域の交流人口と関係人口を増やし、地域社会にうねりをつくります。
3. 付加価値の創造と地域経済の活性化：スポーツを通じて地域の付加価値を高め、地域経済を活性化させます。
4. 健康増進と体力づくり：市民の健康増進と体力づくりを支援し、生活の質の向上に貢献します。
5. 競技力の向上と地域スポーツの推進：地域のスポーツ文化を発展させ、競技力の向上とスポーツの普及・推進を図ります。
6. スポーツを通した人材（人財）の育成：
スポーツを「する」「みる」「支える」機会を通じて、地域の宝である人財の成長を支援します。

【バリュー】（行動指針）以上 の価値を実現するために、我々は次のような行動を重視します。

- ・地域のニーズを把握し、柔軟かつ効果的なプログラムやコンテンツを提供します。
- ・地域住民や関係団体との協力関係を築きながら、持続可能な活動を展開します。
- ・スポーツの普及と参加を促進するために、啓発活動やイベントの開催を積極的に行います。
- ・将来を見据えた新たな施策やプロジェクトに積極的に取り組み、地域社会の発展に貢献します。

4. 取組実績（令和6年度）

4つのスポーツツーリズムで事業開始

ビーチスポーツ

アウトドア
スポーツ

天然芝
スポーツ

サイクル
スポーツ

各種データ

市内利用施設
9箇所

参加者(市内外)
1,667名

関係団体(市内外)
47団体

SNS総フォロワー
704名 R7/4月現在

令和6年度 年間スケジュール

4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

● 発足

- 第1弾イベント「あそびつくせ」inうみっこらんど七塚（700名参加）

● 小学生

● 看護大生

● お盆企画

● かほっくる

● SDGs企業

● にゃん太郎ウォーキング

● 3名将座談会

● かほく市総合 体育館周年行事

120名規模の地引網
は天候により開催が
1度だけとなった



E-bike
レンタル

JAPANTENT

ZOWKING
生フェス

卓球マスターズ

市民大学校

モルック
・サマフェス
・やきいもるっく
(日本海コース)
・イオン
・アクロス

・奥川選手、山瀬
選手とモルック

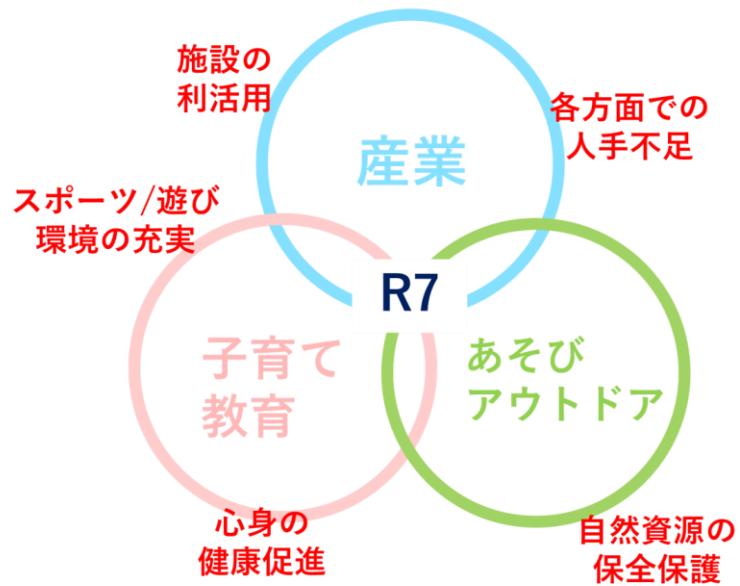
ブルーキャッツ
ホームゲーム
焼き芋販売

4. 取組実績（令和6年度）



4. 取組実績（令和7年度）

地域課題に着目した3つの事業を軸に展開



各種データ R7 / 11月 現在

市内活用施設/資源 参加者(市内外)

16箇所 1,627名

関係団体(市内外) SNS総フォロワー

77団体 1,338名

令和7年度 年間スケジュール

4月	● 観光庁補助申請	● お花見モルック	部活動地域移行推進本部会議が2か月に1回程度開催された(学教、スポ文、スポーツコミ)
5月	● グラウンド・ゴルフ大会 飲食コーディネート	● モルック イオンカップ	E-bikeレンタル開始テスト運用
6月	● 小学生対象 SDGs×地引網 観光地引網 企業向け地引網	● スポーツ×食セミナー	● 中学生職場体験
7月	● セブン湖北モルック体験会		
8月	● 観光庁補助事業 モニターツアー①		
9月			
10月	● 犬の運動会	● ロゲイニング大会	● やきいもスポーツ日和
11月	● サンセット地引網	● 観光庁補助事業 モニターツアー②	
12月		● 奥川選手、山瀬選手とモルック	
1月			
2月			
3月			

4. 取組実績 (R7年度)

地引網に関する事業



小学生のSDGs地引網、観光地引網、企業向け地引網の他、**河北ロータリークラブとの連携で、復興地引網を開催**。観光地引網では、今年から依頼する漁師さんのエリアを広げ、**漁師さん同士の交流づくり**にも挑戦した。また、会場では干物だけでなく、地元食材を使ったけんちん汁と古代米のおにぎりもメニューに組み込んだ。

観光庁地域観光魅力向上事業×E-BIKE



季節ごとの体験と通年の体験ができる、かほくならではのツアーの企画、実証事業を実施した。地引網やかほっくりの収穫体験、無を知る、モナカクラフト®の他、白尾の灯台や榎原神社などのポイントも含めてE-BIKEで市内を巡る内容を企画

モルックに関する事業



お祭りやイオンモールかほくなどの“人の集まるところ”での大会開催をメインとした。その後、モルックの関心も少しずつ高まり、**小学校授業や高齢者向け、サッカーチームのレクリエーションとしての体験会の依頼を受けた**。かほっくりの焼き芋を掛け合わせたやきいもるっくは、生涯学習フェスティバルで実施。

ロゲイニング大会 ほくロゲin高松地区



桜井三郎左衛門をテーマに高松地区で開催。**地域の魅力発信に伴いPRしたいところへの意図的な誘導が可能**。スポーツの日特集でNHKラジオかがのとでの取材を受け、**メディアの関心も感じられた**。参加者からの満足度も高く、シリーズ化しリピーターの獲得を目指す。

4. 取組実績（事業実施による波及効果の一例）

かほくの食でつなぐ人とまち

- ・スポコミのインターン生が自身のバイト先で漁師の干物を提供できないかと交渉しテスト販売を実施
- ・市内や金沢の料理人が漁に参加し、自身のお店へ持ち帰りお店で提供している
- ・イベント後から、市内飲食店がリピーターを獲得した
- ・規格外のかほっこりを拾うスポーツの開発が、規格外の食材を使った市内の飲食につながった



職がつなぐ子どもたちとかほくの未来

- ・小学校で漁師体験した生徒が中学校でもSDGsや漁業に関心を持ち、漁師さんへ講演依頼が来る
- ・小学生対象の地引網での漁師さんとの交流では、漁師に興味がある子が複数人いて、漁師さんと一緒に獲れた魚を食べながら交流を深めていた



あそびを通じたスポーツを支える人の活躍

- ・スポーツ推進委員さんとの活動の幅が広がり、コロナ後に停滞していたの事業展開を活発にする
- ・モルックの指導依頼ややきいもるつく開催の依頼が増加



4. 取組実績（事業成果の再確認）

スポーツコミッショングループの強みは “つなぐ力”

これまで、新規イベント、事業を主催することで
「つながる必要性や必然性」をつくってきた。

今後の課題は “つなげること” にとどまらず、

“つなげて新たな価値を生み出す力”

向上させること

**人を動かし、人をつなげ、
新たな価値を創造（共創）する**

【参考事例】



2025/10/24 (金)
北國新聞朝刊

4. 取組実績（プロスポーツ・トップアスリートとの連携）

PFUブルーキャッツ石川かほくホームゲーム スポーツ推進委員 × 縁日コーナー

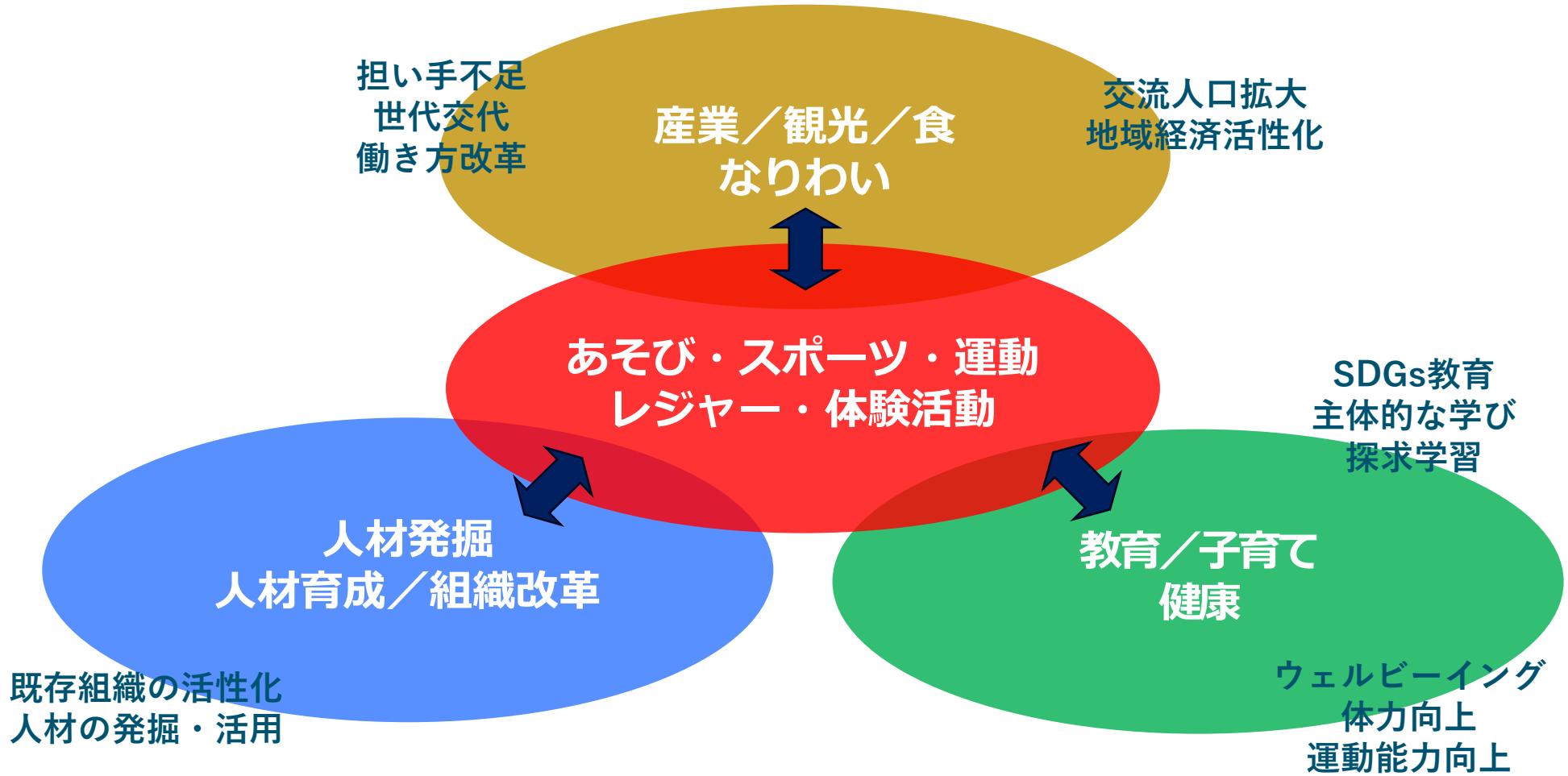


モルックのまち推進 × 山瀬・奥川選手



5. 今後の事業推進における基本方針

～人を動かし、人をつなげ、新たな価値を創造する～

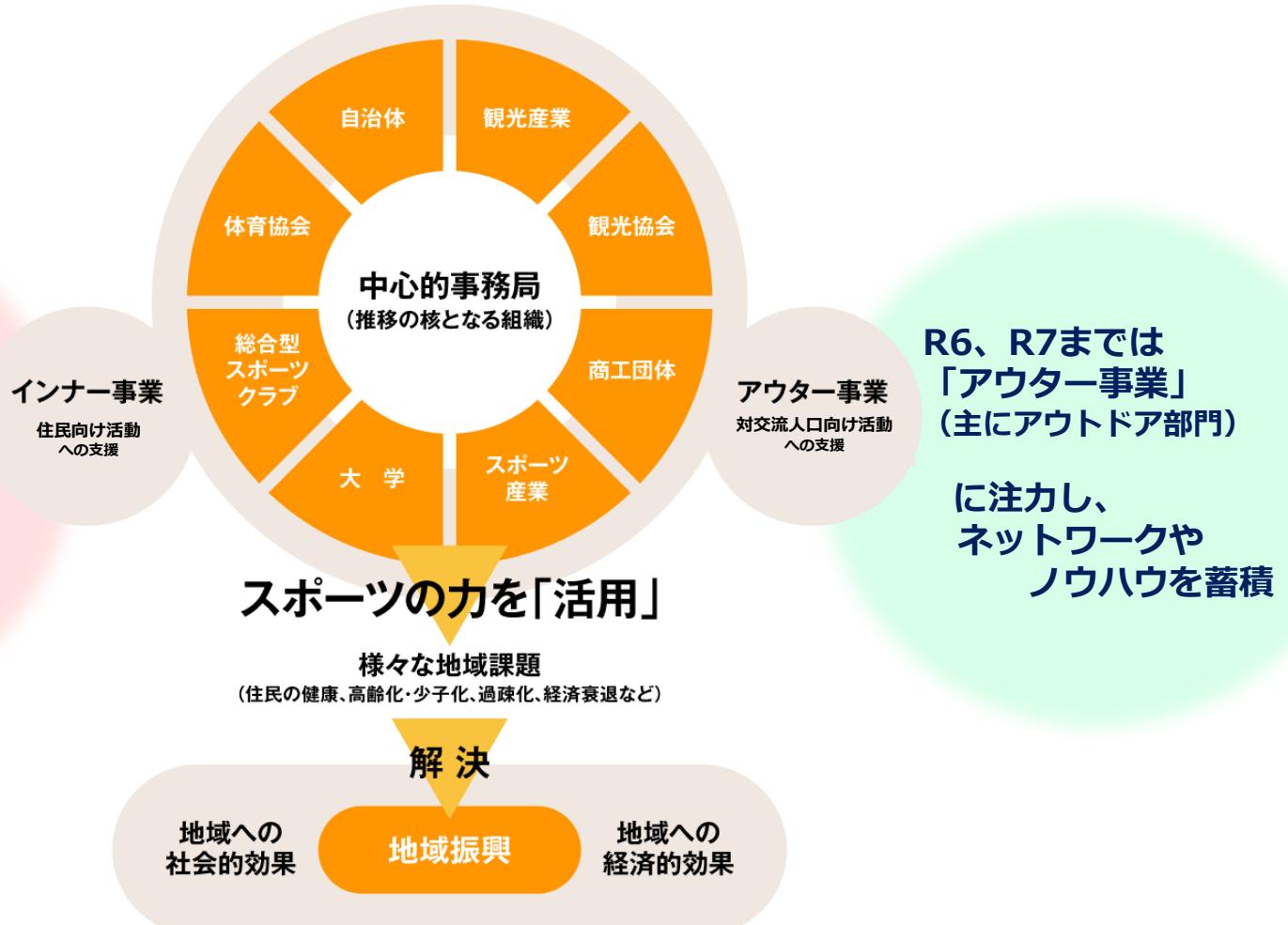


イベント、主催事業はあくまで“手段”であり、
目的は **“つなげて新たな価値を生み出すこと”**

5. 今後の事業推進における基本方針

～人を動かし、人をつなげ、新たな価値を創造する～

「地域スポーツコミッション」(総称)



<アウター事業> : 発展・拡充

(1) スポーツイベント、スポーツツーリズムによる地域活性化事業

- ・海岸活性化プロジェクト（教育地引網／観光地引網（夏・夕方）／クリーンビーチ／SDGs）
- ・小規模プレミアムツアー（モナカクラフト／e-バイク／ひびき網／農家民宿／食／農業【インバウンド】）
- ・「モルックのまち」かほくプロジェクト（学校連携／多世代交流／大会誘致／奥川・山瀬 etc）
- ・市内周遊型体験ツアー（ロゲイニング／サイクルロゲイニング etc）
- ・大会・イベントの運営支援事業（ジュニアスポーツ／プロスポーツ／シニアスポーツ／各種行事）

6.令和8年度 事業計画

<インナー事業> : 新規

(2) 中学校部活動の地域展開を契機としたジュニアスポーツの活性化事業

・市内中学校部活動の地域展開の現状

>市教委により令和8年度中に「完全展開クラブ：8クラブ」、「休日展開 10クラブ」

・平日部活動の地域展開の検討

(参考：11/18 渋谷区スポーツ協会視察訪問)

>ユナイテッドルームの開設、スーパーバイザー／クラブマネジャー、指導者の準雇用

・新しい地域のジュニアスポーツ環境創出に向けたコーディネート

>学校部活動の地域展開を契機とした未来の地域スポーツを考える会（仮称）開催

かほく市における地域移行の進捗状況報告、市内関係者を巻き込んだ検討の場

部活動にない、新規種目の企画・立案・コーディネートの実施

・R9年度 地域クラブ活動事務局機能の移管に向けた積極的準備

>令和9年4月1日からの移管では地域クラブ入会・登録などの繁忙期と重なるため、
令和8年の3年生が主要大会を終える夏・秋ごろから移管準備を始めていきたい

〇〇市/町 地域スポーツの選択肢（イメージ）

①既存の学校部活動種目の移行型

指導者の発掘・採用・配置
拠点校方式・統廃合の検討
(各学校の部活動を1か所で実施)

②既存の地域クラブの継続・発展型

既に中学生世代が所属／活動しているクラブ
スポーツ少年団等の中学生年代部門の創設
各競技協会活動への中学生年代の参加

③既存の民間スクールの継続・活用型

民間で活動しているスイミング、ダンスなどのスクール

④新規創設型（運動系）

レクリエーション部、シーズンスポーツ部、
アウトドアスポーツ部、eスポーツ部
※イベント的な開催も可能

⑤新規創設型（文化系）

ボランティア部、デジタルクリエイト（プログラミング・ICT・動画編集）部、総合文化部（華道、茶道、書道、写真、コーラス、ギター、囲碁・将棋・・・※芸術・文化協会等との連携）

⑥チャンピオンシップ（特別強化）型

（①～⑤のスキームと重複する場合もあり）

専任コーチを起用
競技力向上を目指す
全国規模・国際大会の招致

事務局（運営団体）

統括コーディネーター、サブコーディネーター（各中学校担当）

【主たる業務】活動コーディネート、指導者配置（実施主体との情報共有）、会場調整、大会参加登録、送迎サポート【部活バス】、保険対応、広報・PR、財務管理・マネジメント

地域（人生を過ごす場）でのスポーツが変わる？

